

I 戸隠キャンプ場の利用料金に係る条例改正について

1 戸隠キャンプ場の概要、利用状況

・概要

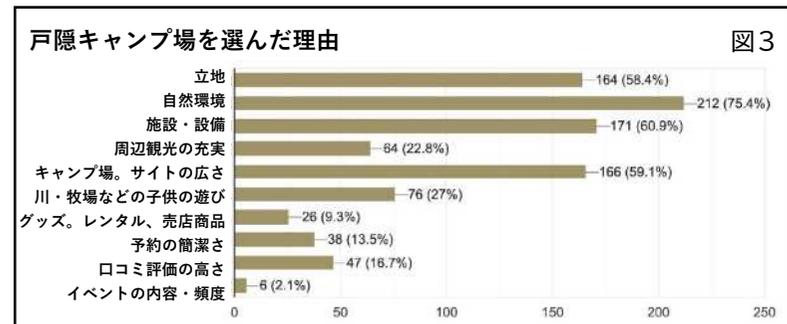
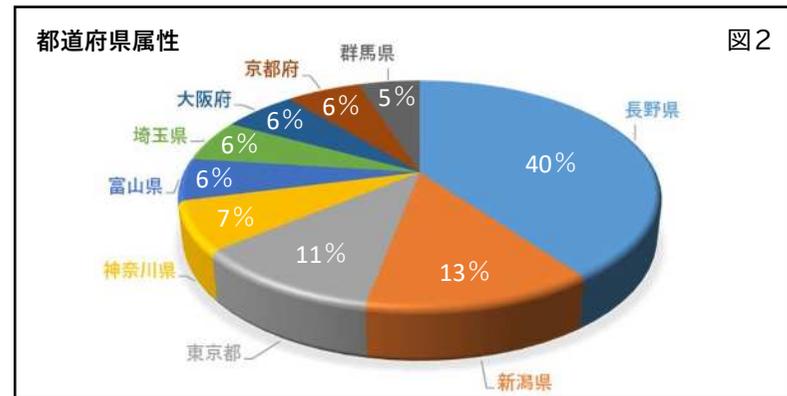
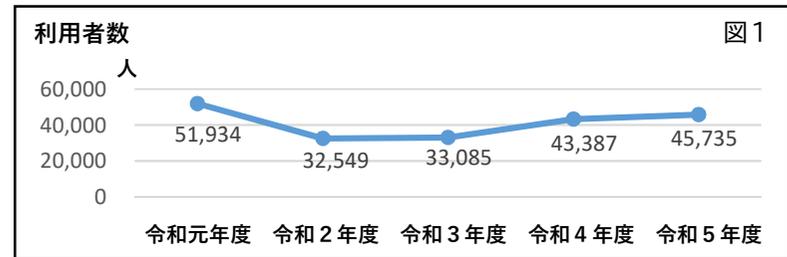
戸隠キャンプ場は、昭和36年に開設。敷地面積は、22.49haで東京ドーム約5個分にあたり、広大なフィールドの中にフリーサイト250張、電源、水道付区画サイトは50区画、ログキャビン28棟、バンガロー2棟、コテージ5棟、トレーラーハウス4棟と、様々なシチュエーションで楽しめる全国にも例の無いキャンプ場となっている。また、場内に併設されている戸隠牧場は牛や馬が放牧され、乗馬体験やふれあい動物広場など子どもたちに大人気となっている。

・利用状況

令和2年度、3年度は新型コロナウイルスの影響により利用者数が減少したが、令和4年度以降はコロナ過でのキャンプブームも後押しをして利用者が増加した。（図1参照）

（株）戸隠のアンケート調査では、利用者の4割が長野県、6割が県外（関東地方3割、北信越地方2割、関西地方1割）。（図2参照）

戸隠キャンプ場を選んだ理由の一番は、自然環境が良いこと、二番は、施設・設備が充実していること、三番は、サイトの広さや交通の便などの立地条件が良いこと。（図3参照）



2 全国キャンプ場における今後の方針・方向性

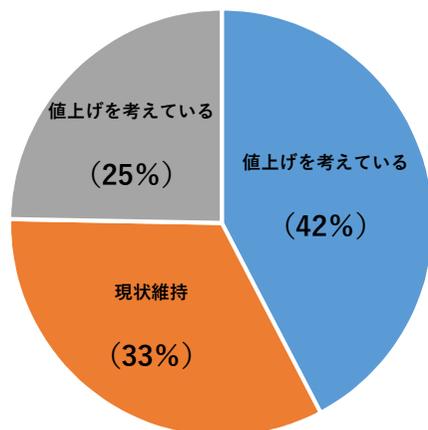
2

- ・全国のキャンプ場900カ所からアンケートを実施。（公設及び民間）

2024年度予想と計画アンケート結果

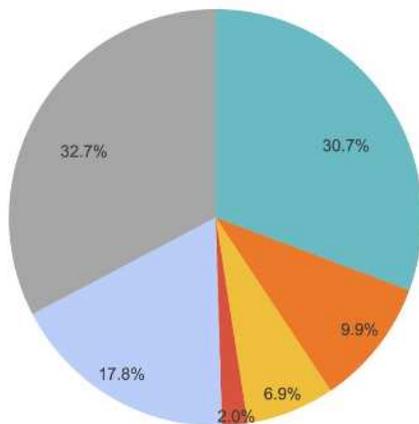


サイト料金の値上げの有無



- 値上げを考えている（42%）
- 現状維持（33%）
- 値上げを考えていない（25%）
※内、すでに値上げを実施済み 24%

2024年事業の大きな方針・方向性として特に考えていることは？



- キャンプ場事業サービス（ソフト面）拡充（30.7%）
- キャンプ場事業環境（ハード面）拡張・拡大（9.9%）
- キャンプ場周辺関連事業の開発・拡大（6.9%）
- 別事業へ参入（2.0%）
- 適正な規模や組織、サービスへの整理・見直し（17.8%）
- 現状維持・堅持（32.7%）

※キャンプ業界は、キャンプブームがピークアウトし、今後利用者が減少していく。その中で、いかに清潔で快適な環境を整え、利用者に気持ちよく過ごしていただき、選ばれるキャンプ場になるかが重要である。そのため、経営環境の変化に対応できる料金体系とする必要がある。

3 近隣類似施設との料金比較

コテージ、ログキャビン、バンガロー比較

※ 敷地面積が戸隠キャンプ場と同等規模の人気キャンプ場

(単位：円)

区分0		戸隠 キャンプ場 (現行)		北軽井沢 スウィートグラス		無印良品 カンパニー カヌー恋 キャンプ場		
所在地		長野市		群馬県長野原町		群馬県嬬恋村		
コテージ (6人)	レギュラー	28,000			29,000		48,400	
	ハイ	31,000						
ログキャビン (5人)	レギュラー	9,000			13,200		18,800	
	ハイ	14,000						
バンガロー (5人)	レギュラー	5,000			—			
	ハイ	6,000			—			

区画サイト、フリーサイト比較

区分	戸隠 キャンプ場 (現行)	北軽井沢 スウィートグラス	キャンプ & キャンピズ 那須高原	丸沼高原 オートキャンプ場	無印良品 カンパニー カヌー恋 キャンプ場	キャンパス いいづな 飯綱東高原	長野フォレスト ビレッジ	
所在地	長野市	群馬県長野原町	栃木県那須町	群馬県片品村	群馬県嬬恋村	長野県飯綱町	長野市	
区画サイト	レギュラー	8,000	5,500	5,500	5,000	8,320	6,000	—
	ハイ	11,000	28,000	18,500	10,000	13,000	11,500	—
	m ²	130m ²	120m ²	130m ²	140m ²	140m ²	130m ²	
フリーサイト	レギュラー	2,500	—	—	3,000	3,600	2,000	
	ハイ	4,000	—	—	5,500	5,000	3,500	

4 キャンプ場経営の方向性

キャンプブームがピークアウトしていく中、安定した経営を維持していくには、指定管理者の自由な発想により、収益性の高い事業展開を行うことが必要であり、今後、さらなるサービスの向上を目指す

- ① 安定的な経営を維持する
- ② キャンプ場内の清潔、快適な環境づくり（トイレ整備、炊事場の快適性の向上）
- ③ 観光資源として、更なる魅力を磨き上げる（インバウンド対応、トレーラーハウス施設等の通年化）
- ④ 登山者や市民にとって、より身近で気軽に利用できる施設を目指す

5 利用料金改定の考え方

- ① 近隣キャンプ場と比較する中で、魅力を維持し、競争力を失わない均衡のとれた料金
- ② 指定管理者の様々な企画や裁量を妨げないこと
- ③ 今後、人件費等の上昇にも耐えうる料金の幅を考慮すること

6 条例改正について

(令和6年12月議会で改正、令和7年4月1日施行)

(1) 上限額の引き上げ

現在の利用料金は、上限に達しているものが多いことから、類似施設を参考に利用料金の上限額を引き上げ、指定管理者の柔軟な運営の下、幅広いサービスを提供していくため、適切なタイミングで料金改定できるように上限の幅を持たせた額で設定するもの。

(2) フリーサイト持込テントの区分の一本化

近年、テント形状が多様化し、1人用の広いテントから10人以上のテントまで、幅広いテントが使用されていることから、区分を一本化し、面積に応じた料金設定にするもの。

区分	適用		改正前	改正後
			上限	上限改定額
コテージ	1棟1泊		31,000円以下	62,000円以下
ログキャビン	1棟1泊		18,000円以下	36,000円以下
バンガロー	1棟1泊		6,000円以下	12,000円以下
フリーサイト	常設テント 1張1泊		4,000円以下	10,000円以下 (区分を一本化) テントサイズごとに料金を設定
	持込テント 1張1泊につき	2人以下用	3,000円以下	
		3人以上用	4,000円以下	
	補助テント 1張1泊につき		3,000円以下	
区画サイト	130㎡		11,000円以下	22,000円以下
電源水道付サイト	200㎡		16,000円以下	32,000円以下
駐車料	1台1泊につき		10,000円以下	20,000円以下
	1台1日		3,000円以下	6,000円以下
シャワー	1回につき		310円以下	620円以下
入場料	1人1日につき		300円以下	600円以下



(黄色セルは、上限額に達している)

(3) 新料金について

4月末オープンに向けて指定管理者と協議中

II 戸隠スキー場の利用料金に係る条例改正について

1 2023～2024 近隣スキー場リフト料金比較表

(単位：円)

券種	区分	戸隠	斑尾高原	白馬47	白馬八方尾根	野沢温泉	志賀高原	黒姫高原
1日券	大人	5,000	6,500	7,500	7,200	6,800	7,500	5,500
	シニア	4,500	6,000	6,700	7,000	5,400	6,400	4,900
	小人	3,000	3,500	3,800	3,600	4,100	3,700	2,800
2日券	大人	9,000	10,500	14,000	14,400	12,600	14,500	10,800
	シニア	7,500	9,500	12,500	14,000	10,000	12,400	9,600
	小人	5,500	5,500	7,000	7,200	7,600	7,200	5,400
3日券	大人	13,000	14,500	19,000		18,400	21,500	16,100
	シニア	10,500	13,000	17,700		14,600	18,400	14,300
	小人	8,000	7,500	9,500		11,100	10,700	8,000
シーズン券	大人	60,000	58,000	70,000	94,000 (40歳以上)	89,000	95,000	38,000
	シニア	47,000	48,000	60,000	48,000 (18~39歳)	71,000	85,500	38,000
	小人	38,000	35,000	35,000	30,000	54,000	47,500	29,000
半日券	大人	4,000	6,500	6,300	6,000	5,800	6,500	
	シニア	3,500	6,000	6,300		4,600	5,900	
	小人	2,500	3,500	3,200	3,000	3,500	3,200	
1回券	大人	400	700	650	600			600
	シニア	350	700	650	600			
	小人	250	700	350	600			
回数券	大人	4,000		7,500				
	シニア	3,500		7,500				
	小人	2,500		3,800				

黄色セルは、上限額に達している

戸隠スキー場と同等規模で競合するスキー場

2 スキー場経営の方向性

数多くのスキー場が競争するエリアの中で、選ばれ続けるため、
指定管理者による施設・事業への投資を呼び込みつつ、
収益性の高い事業展開が可能となるよう、
より自由度の高い経営により、サービスの向上を目指す

- ① 地元雇用を創出し、地域に貢献する
- ② 観光資源として、更なる魅力を磨き上げる（インバウンド対応、通年化）
- ③ 市民にとって、より身近で気軽に利用できる施設を目指す

3 利用料金改定の考え方

- ① 近隣スキー場と比較する中で、競争力を失わない均衡のとれた料金
- ② 指定管理者による柔軟な企画や裁量を妨げないこと
- ③ 昨今のコスト上昇にも耐えうる料金の幅を考慮すること

市民対象の「リフト料金割引」や「親子滑走支援事業」は継続実施

4 スキー場 条例の利用料金（範囲制）の上限額の改正 （令和6年9月議会で改正、令和6年10月5日施行）

券種	区分	現行料金	改定前	新料金	改定後
		<small>（黄色セルは、上限額に達している）</small>	上限		上限
1日券	大人	5,000円	5,000円以下	6,500円	12,000円以下
	シニア	4,500円	4,500円以下	5,500円	11,000円以下
	小人	3,000円	3,000円以下	4,000円	7,000円以下
2日券	大人	9,000円	9,000円以下	12,000円	21,500円以下
	シニア	7,500円	7,500円以下	10,000円	20,000円以下
	小人	5,500円	5,500円以下	7,200円	12,500円以下
3日券	大人	13,000円	13,000円以下	16,500円	30,000円以下
	シニア	10,500円	10,500円以下	14,000円	27,500円以下
	小人	8,000円	8,000円以下	10,000円	17,500円以下
シーズン券	大人	60,000円	62,500円以下	80,000円	120,000円以下
	シニア	47,000円	47,000円以下	70,000円	110,000円以下
	小人	38,000円	38,500円以下	50,000円	70,000円以下
半日券	大人	4,000円	4,000円以下	4,500円	9,000円以下
	シニア	3,500円	3,500円以下	4,000円	8,000円以下
	小人	2,500円	2,500円以下	3,000円	5,000円以下
1回券	大人	400円	400円以下	600円	2,000円以下
	シニア	350円	400円以下	500円	2,000円以下
	小人	250円	300円以下	400円	1,500円以下
回数券	大人	4,000円	4,000円以下	5,500円	9,500円以下
	シニア	3,500円	4,000円以下	4,500円	9,000円以下
	小人	2,500円	2,500円以下	3,500円	5,500円以下

（上限額）
標準額の概ね2倍を目安
に設定

グリーンシーズン等
に対応

令和5年度実績から試算



（参考）2024-2025リフト1日券料金の比較

（単位：円）

券種	区分	戸隠	斑尾高原	白馬47	白馬八方尾根	野沢温泉	志賀高原
1日券	大人	6,500	8,000	8,000	8,000	6,800	8,000
	シニア	5,500	7,500	7,500	7,700	5,400	7,500
	小人	4,000	5,000	6,000	4,000	4,100	5,000